

グリーンライトレーザーシステム更新のお知らせ

泌尿器科 角井 健太

当院では2012年1月から、前立腺肥大による排尿障害に対する手術療法としてグリーンライトレーザーを用いた光選択的前立腺蒸散術(PVP)を開始し、現在までに約500例の手術を行ってまいりました。

このたび、当院ではグリーンライトレーザーシステムを「Green Light XPS™ システム」(図1)に更新しました。本機種は兵庫県内では当院が初めての導入施設となります。



図1: Green Light XPS™ システム

前立腺肥大症とは？

膀胱のすぐ下にある前立腺が肥大して尿道を圧迫し、尿の切れが悪い、出にくい、尿が近いなどの排尿障害を起こす病気です。

治療方法の特徴:光選択的前立腺蒸散術(PVP)

排尿障害が重症の場合には手術が選択されることが多く、以前は主に電気メスを用いる経尿道的前立腺切除術(TUR-P)が行われていました。しかし、この方法は一般的に出血が多く、また術後3～4日間尿道に管(カテーテル)が入るため1週間程度の入院が必要でした。一方、PVPでは少ない出血量で前立腺を蒸散することができ(図2)、輸血の心配もほぼありません。また、術後の患部の腫れがほとんどないため痛みが少なく、入院期間も数日と短くなります。

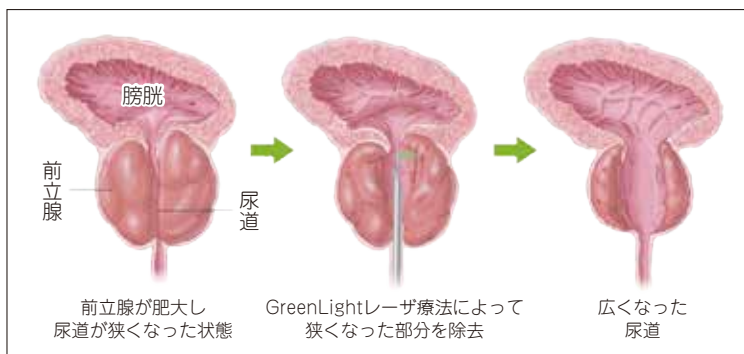


図2: 光選択的前立腺蒸散術(PVP)の治療過程

新機種の利点

- 従来品と比較してビーム面積が50%広くなり、従来よりも高効率でスピーディな手術が実現できます。(図3)(手術時間短縮への効果と身体への負担軽減効果)
- 速やかな凝固・止血が可能となります。(パルス波のTruCoag機能)
- レーザーファイバーの改良によって、従来より耐久性も大幅に向上しました。

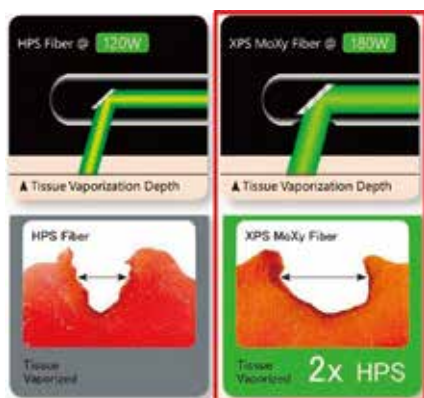


図3: 従来品(左)と新機種(右)の比較

今回の更新に伴い、身体への負担がより少なく、よりサイズの大きな前立腺肥大に対しても手術を行うことが可能となりました。排尿障害でお困りの患者様は、泌尿器科専門医にご相談ください。

関西ろうさい病院の理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、高度急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実へに励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。

イメージキャラクター
かんろっこ

さぶりめんと

2021-Mar.

No. 56

その症状、脳梗塞の前兆かもしれません

神経内科 寺崎 泰和

一過性脳虚血発作(TIA)

脳梗塞は、脳の血管が詰まることで、いわば「兵糧攻め」のように栄養や酸素が行き渡らず、詰まった血管の先にある脳が死んでしまい、その領域の症状が出現する病気です。しかし、血管が詰まってもすぐに詰まりが解消されると、脳は死なずに症状も改善します。これが一過性脳虚血発作で、文字通り「一過性」に起こる脳の「発作」です。

一過性脳虚血発作では、症状は短ければ10分以内に一旦消失します。しかし侮ってはいけません。その後2日以内に脳梗塞になる割合は、低リスクで1.0%、中等度リスクで4.1%、高リスクで8.1%と報告されており、7日以内に広げると最大11.7%となっています。一過性脳虚血発作が脳梗塞の前兆といわれる所以です。そのため、症状がなくなったからと言って様子を見ず、すぐに医療機関を受診することが大切です。



合言葉は「FAST」

症状は多岐にわたりますが、脳卒中の主な症状を知ることができるFASTという方法があります。様子がおかしいと思ったら、「顔(Face)・腕(Arm)・言葉(Speech)」を確認してください。

「顔(Face)」のチェックでは、「イー」の口をしてみましよう。左右どちらかの顔がゆがんでいないか、口角が下がっていないかをチェックします。また、水を飲もうとして片方からこぼれることもあります。「腕(Arm)」のチェックでは、手のひらを上にして肘を伸ばして両手を前に挙上してみましよう。両手が同じように挙がるか、5つ数える間に片方が下がってこないかをチェックします。お箸がうまく使えないといったことも起こり得ます。「言葉(Speech)」のチェックでは、「今日は良い天気です」といった短い文を言ってもらいましょう。また、よく知っている人や物の名前を聞いてみましょう。呂律が回っているか、言葉が出てこないことはないか、聞いたことを理解できているかをチェックします。FASTの「T」は時間(Time)です。これらがうまくできない場合、すぐに医療機関を受診するか119番しましょう。

脳梗塞を含む脳卒中発症チェック(FAST)

F



Face (顔)

片側がゆがんでいませんか？

A



Arm (腕)

両腕をあげたままにできますか？

S



Speech (言葉)

短い言葉が話せますか？

T



Time (時間)

症状に気づいたらすぐ受診！